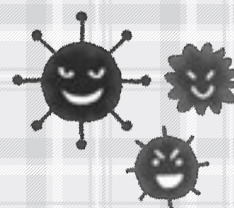


高温多湿の季節は水虫に注意！

梅雨から夏にかけての高温多湿の時は、食中毒菌だけではなく水虫の菌も活発に活動しています。皮膚科にかかる患者数も、5月ごろから急増し、夏が終わるとともに減少します。誰でもかかる可能性がある水虫の正体を知り、予防と撃退につなげましょう。



水虫の症状

①趾間型

足の指の間の皮膚が白くふやけてむけたり、赤くただれたりし、かゆみがあります。

②小水疱型

足の裏や側面、指、指と指の間などに、小さな水疱ができます。水疱の周りが赤くなり、はれることがあります。痛みを伴うことがあり、特に水疱のでき始めなどに強いかゆみがあります。

③角化型（角質増殖型）

かかとを中心に足の裏やふちなどの角質が、厚く硬くなりひび割れを起こしてガサガサな状態になったり、あかぎれのようになり、皮がむけたりします。自覚症状が少なく、水虫と気づきにくく、冬の乾燥による肌荒れなどと勘違いしてしまいがちです。かゆみはほとんどありません。

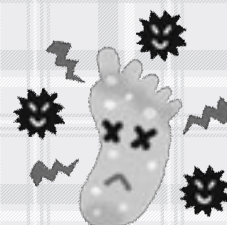
水虫を予防するには

水虫は、高温と多湿という条件が整うと活発に活動を始めます。日本の梅雨から夏にかけての蒸し暑さは、水虫にとっては最高の環境といえます。水虫の予防には、「水虫が活動しにくい環境づくり」と「水虫にかかっている人からの感染防止」が最も重要です。

①少なくとも1日1回は足をせっけんでていねいに洗う

②足が蒸れた状態を長時間続けない

③免疫力を高め、良好な健康状態を保つ



水虫といえば、男性の病気と思いがちですが、ブーツや細めの靴など足の指の間に湿気のたまり易い靴を履く女性も多く水虫になっています。

水虫の疑いがある症状を見つけたら、決して放置することなく、また、自己判断で市販の薬を使用せずに、必ず皮膚科を受診して検査を受けるようにしましょう。

有料広告掲載欄

介護認定を受けていない方、非該当の方も利用可能。
短時間でのご利用もご相談下さい。

**お元気デイサービス
エクセレントくわな**

個別リハビリも好評です
エステ・マッサージも人気
快適な機械浴もあります



1日無料体験
受付中
昼食・入浴・
送迎も無料



医療法人 福島会

桑名市福島1000-1(桑名駅から徒歩7分)

★施設入居のご相談も承っております。

【お問い合わせ】月～土/8:30～18:00 ☎0594-27-5000

ふくじま プログラム公開中!

検索

